

1

問一 自分や他人を傷つけても嘘をつかずに自分が信じることをそのまま無防備に口にするので多くの傷を負い、他人も傷つける思慮に欠けた「馬鹿」という言い方では済ませられない状態。

問二 自分の都合が悪くなると嘘をつこうとしたり、本当のことを言えば周りからかわれると分かれば嘘をついてその場をしのいだりすることで自分が信じていることを隠すこともできる状態。

問三 自分のついた嘘とつじつまの合う嘘を重ねるしかなく望むように振る舞えなくなってしまう、気持ちを押し殺す苦しみの中なかで偽りのない人間関係を取り戻す希望を失うこと。

問四 社会についてある程度認識しており、嘘をつけば自分の利益になる場合でも思いとどまって自分の信じていることを言ったり、相手とオープンに話し合ったりするための努力をすることであり、嘘を ついてしまった時にも本当のことを話そうとする意志を失わないこと。

7点 6点 6点 6点

受験番号

□	□	□	□
---	---	---	---

氏名

解答例

問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
工 3点	エ	ア	A	イ	ウ	B	エ	C
	利害	誠実	ウ	2点	イ	エ	2点	イ
	オ	イ	C		イ	D		ア
	切望	立派	ア		ア	2点×4		ウ
		賞賛						

2点×5

問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
ア	A	工	I	イ	II	II	II
4点	コ	4点	蛙	2点	山	鯛	水心
	B		かわず		やま	たい	みずごころ
	シ				III	IV	
	C				鯛	水心	
	エ				たい	みずごころ	
	D				IV		
	ス				水心		

2点×4 8点 8点 8点